

令和7年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

令和8年7月現在

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出（施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に）																	ふんと記載項目（満足度／子ども参加率）			
大分類	小分類	事業名	連携・共催・協力・助成等	開催日・会場等	プラン基本方針	当初計画事業目的	記入項目	R7予算	R7実績	終了時に記入 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R8方向性	R8予算	市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート			R6満足度	R6子供率	R7満足度	R7子供率
1	1	絵本のような絵画展	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力	4/19～5/26 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	伊賀の自然や風景を描いた穠月明氏の作品をテーマを決めて展示。作品の元になった話を楽しむ鑑賞できる企画展として、おとぎ話や伝記、説話などを絵とともに楽しめるようにする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 255,000円 入館料	302人 1回 206,679円 入館料	GW期間中の開催であり、「絵本」をテーマにしたことから、通常の展覧会に比べて高校生以下の来場が多く見られた。	企画展						—	—	100.0%	8.6%
1	2	ゴスペラーズ坂ツアー2025”G30共催事業		5/17 伊賀市文化会館	1-Ⅰ	ゴスペラーズ（日本人の男声5人）によるデビュー30周年を記念したツアーの一環として開催。	参加者数 開催数 開催経費 収入	900人 1回 41,000円 265,000円	1,098人 1回 20,227円 161,650円	音楽のジャンルや老若男女を問わず、より多くの方にホール公演を楽しんでもらえた。	単発		6-3 文化・芸術	満足度 参画度			—	—	—	—
1	3	伊賀華道協会創立10周年記念花展 ものがたり	・伊賀華道協会と共催	6/7～8 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 3-Ⅱ 5-Ⅰ 7-Ⅱ	和文化の象徴である「華道」を学ぶ者たちの発表の場。伊賀華道協会の会員約100人が出展して「いけばな」の素晴らしさを伝え、伝統文化の継承と育成を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 5,000円 70,000円	400人 1回 114,650円 37,500円	作成中	単発						—	—	—	—
1	4	特別展 化石が語る太古の世界	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力 ・北田稔氏協力	6/7～7/6 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	伊賀市で採集された化石を展示し、化石を見つける楽しさ、鑑賞する楽しさ、化石による思い出を持つ楽しさを知ってもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 325,000円 入館料	719人 1回 212,095円 入館料	会期前に学校関係者に事前公開したことにより、小中学生が授業の一環として来館するきっかけとなった。化石への関心も高く、人気も高いことが分かった。	特別展						—	—	≒100	35.4%
1	5	花岡洋三作品寄贈記念展 FRAGMENTS OF THE SELF		6/11～15 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 3-	美術家団体「関西文化美術協会」の要職に就き、伊賀市に数多くの作品を寄贈した花岡洋三氏の作品を展示し、功績を顕彰する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 100,000円 —	319人 1回 34,100円 —	作成中	単発						—	—	—	—
1	6	クラシックのいろは2025 オーケストラで聴きたい！三大名曲選PART1	・大和ハウス工業特別協賛 ・岡波総合病院事業協賛	6/22 9/21 12/6 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	今回から3年間で「交響曲・協奏曲・バレエ音楽」の三大名曲選としてシリーズで公演。「誰もが聴いたことのある」名曲を選びずってお届けする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,600人 3回 14,080,000円 11,023,000円	1,914人 3回 15,090,597円 12,926,131円	11年目の公演として、コアなクラシックファンならずとも馴染み深い珠玉の名曲をシリーズで公演することにした。著名ソリストを起用できたこともあり、集客に繋げることができた。	継続						98.7%	2.1%	98.7%	0.3%
1	7	鳥居先生による なるほど～“クラシック” クラシックのいろは付随事業	※	6/15 9/14 11/24 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	クラシックのいろはの各公演を前に、伊賀オケ指揮者の鳥居明夫が各公演の楽曲などを判り易く解説する無料音楽講座。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 3回 いろはに合算 いろはに合算	92人 3回 — —	毎回新しい顔ぶれが訪れるようになり、中には「有料でいいからもっと聴きたい」という声も聞かれるようになった。会場の収容力に課題がある。	継続						100.0%	5.0%	100.0%	0.0%
1	8	キレイアートフェスタin伊賀市文化会館	・フェスタ実行委員会共催	7/6 12/14 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 3-Ⅰ 7-Ⅱ	市民が多種多様な芸術に触れられる空間づくりを目指して、文化会館のホワイエ・ロビーを地域の団体に提供し、芸術作品を展示してもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,000人 2回 5,000円 70,000円	555人 2回 1,744円 118,450円								—	—	91.7%	15.3%
1	9	リラクスタタイムコンサート 演奏家と過ごす素敵ひととき	協力:ウエルサンピア伊賀・カフェ碧	7/11 サンピア伊賀 1/30 カフェ碧	1-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	様々なジャンルの音楽とその演奏家を身近に感じ、気軽に楽しめるコンサートとして、ホールコンサートへの参加意欲の向上を図る。サンピア伊賀は2度目	参加者数 開催数 開催経費 収入	120人 2回 938,000円 500,000円	131人 2回 770,170円 392,600円	作成中							94.0%	0.0%	≒100	0.0%
1	10	夏の企画展 月光～穠月明の夜の景色Ⅱ 暗闇で見る光の世界	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力	7/20～9/8 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	伊賀の自然や風景を描いた穠月明氏の作品をテーマを決めて展示。月光に輝く水面や浮かび上がる花や雪、神秘的な夜の空間を描いた穠月作品を展示。暗がりの会場をキャンドルライトを手に巡る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 370,000円 入館料	390人 1回 247,582円 14,900円+α	暗室展示でキャンドルライトによる演出は作品のメッセージがより伝わりやすいのか、来場者が昨年を上回った。	企画展						—	—	≒100	15.8%
1	11	TAIRIKIプロデュース 古澤巖の品川カルテット	・アーティスト共催	7/24 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ	平日開催事業。本公演2回のほか、乳幼児入場可の「お昼のフリーコンサート(無料)」も行い、幅広い年代に演奏機会を提供する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	450人 2回+1回 484,000円 538,000円	389人 2回+1回 500,314円 467,742円	お馴染みの公演になった。本番の前に無料のフリーコンサートを開催する点は有り難いが、毎回進行から曲目までがほぼ同じ内容であり、アーティストと協議する余地がない。	検討						98.7%	14.0%	100.0%	13.0%
1	12	伊賀市文化会館まるごと音楽 フェスタ「音フェス」		8/2 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 2-Ⅱ	音楽文化の更なる進展を図るため、舞台を含む文化会館全体を活用し、音に関連する楽器体験・製作のワークショップを取り入れた事業を展開し、幅広い年齢層が楽しめる音楽の祭典とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 2,233,000円 995,000円	305人 1回 1,589,966円 919,000円	伊賀市文化会館の全体を使って、一日中音楽に触れられる事業として開催し、家族、友人らと楽しんでもらうことができた。各種の体験やコンサートの時間が重複して行きたいものに参加できなかった場面もあり、調整が必要と感じた。	単発						—	—	≒100	60.0%
1	13	ふんとCINEMA 最新作をホールで上映	・イオンエンターテインメント共催	8/12 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅱ	伊賀市内には映画館がないことから、多くの市民が映画に親しめるよう、ホールでの新作映画会を開催して来場者に劇場鑑賞の魅力を伝える。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,200人 2回 1,490,000円 650,000円	289人 1回 686,536円 192,950円	遠出しなくても最新作が鑑賞できて嬉しいといった声が多かった。一方、上映作品が直前まで決まらないため、事前周知や広報が充分でないことが課題。	継続						100.0%	38.3%	≒100	52.5%
1	14	ミュージカル化決定記念上映会 アニオー姫in CINEMA	大和ハウス工業協賛	8/23 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 7-Ⅰ	17世紀初頭にあったベトナムの姫と日本人商人の愛の物語(史実)をオペラ化。ベトナム公演のフィルム上映会とし、声楽家によるミニライブも開催。	参加者数 開催数 開催経費 収入	400人 1回 1,008,000円 600,000円	289人 1回 2,430,535円 2,364,300円	ベトナムで上演したオペラ映像を文化会館のステージ上に投影するという上映会だったが、来場者の中にはベトナム籍の方々も一定いた。	単発						—	—	—	—
1	15	いまに息づく桃山陶器 桃山デザイン展in伊賀	・豊国神社協力 ・京都市立芸術大学協力 ・岡田文化財団助成	9/20～10/19 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	桃山時代の様々な陶器を紹介し、伊賀焼が生み出された背景や他地域との作品差を同時に知る機会とする。会期中に大学教授や学生らによるギャラリートークも行う	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 1,680,000円 910,000円	233人 1回 1,416,065円 760,000円	青山讃頌舎の普段の展示作品と違う雰囲気を楽しめたとの意見が多くあった。展示作品に関連する京都の資料だけでなく伊賀市の資料も展示した。	企画展						—	—	≒100	5.1%
1	16	まちかどクラシック	・上野天神宮／岡森書店協力	10/12 上野天神宮 2/14 岡森書店白鳳店	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅱ	地域の音楽家たちを市内の店舗や事業所等に派遣し、居合わせた市民にクラシック音楽の魅力を伝える催し。同時にホールへの来場を呼びかける。	参加者数 開催数 開催経費 収入	30人 3回 245,600円 67,500円	29人 3回 248,524円 67,000円	僅か3回の教室のため、終了後に参加者が市内の絵画サークルに入門することを期待して開催。参加者のうち4人がサークルで引き続き絵画を学んでいる。	継続						—	—	—	—
1	17	ハロウィンフェスタinいが 2025withサンピア伊賀「にぎわいマルシェ」	・ウエルサピア伊賀と連携	10/25 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 5-Ⅰ 7-Ⅱ	コロナ禍以前にあやま文化センターやあふるさと会館いがで開催したフェスタを、初めて文化会館で開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	600人 1回 1,143,000円 375,000円	600人 1回 1,642,718円 217,200円	「にぎわいマルシェ」と同時開催し、文化ホールが地域の文化発信拠点として市民に再認識されるための参加交流事業とした。							—	—	—	70.0%
1	18	クラシックのいろは2025番外編 イリーナ・メジュエワピアノリサイタル 3台ピアノ弾き比べ		11/1 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ	ホール既存の3台のピアノをイリーナさんが弾き比べする。それぞれのピアノの特色に合った曲目をイリーナさんの解説も交えながら楽しむ。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 949,000円 750,000円	194人 1回 909,142円 482,100円	出演者とプログラミングを密に打ち合わせた。製造元が異なる3台のピアノの音色の聴き比べという、楽しめるプログラムにした。	単発						—	—	98.7%	—
1	19	開館10周年記念特別展 大親 玉堂 龍子 近代日本画 三大巨匠展	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力 ・パラミタミュージアム協力	11/14～12/15 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	パラミタミュージアムの協力を得て、日本画の進展に大きな足跡を残した横山大観、川合玉堂、川端龍子の作品を公開。様々な人が気軽に芸術文化を楽しむようにする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 1,135,000円 30,000円	302人 1回 750,209円 27,200円	日本画に馴染みのない来館者にも、当館の存在を知る機会となった。併せて穠月明氏の展示作品も観る人の共感を呼び、穠月作品の芸術性を改めて紹介する機会となった。	特別展						—	—	99.1%	6.2%
1	7	松風庵一志 堂豊前家と楽焼の魅力	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力	1/8～2/15 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	藤堂豊前家の子孫から伊賀市に寄贈された貴重資料の中より、藩士の松風庵一志が作陶した楽焼を公開し、武家生活の有り様を紹介する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 255,000円 入館料	264人 1回 121,099円 4,200円+α	文化財課による展示構成は見やすく、美しいレイアウトと分かりやすい解説パネルにより、評価が高かった。寄贈者にも喜ばれた。	文化財特別 公開展						—	—	98・9	1.5%
1	20	気軽に始める絵画教室	・実行委員会協力	1/30 2/6 2/20 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	未経験者や初級者、過去の経験者に参加を呼びかけ、生涯学習に通じる絵画教室とする。市内の画家8人が講座をサポートする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	30人 3回 245,600円 67,500円	29人 3回 248,524円 67,000円	僅か3回の教室のため、終了後に参加者が市内の絵画サークルに入門することを期待して開催。参加者のうち4人がサークルで引き続き絵画を学んでいる。	通常展						—	—	≒100	—

令和7年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

令和8年7月現在

1	21	四国遍路の旅・土佐編 月明《四国八十八ヶ所 御仏と寺》より	・伊賀市共催 ・東洋文化資料館青山讃頌舎協力	3/5～4/6 青山讃頌舎	1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	四国八十八ヶ所を巡り寺院を本尊を描く大作に取り組んだ種月氏の作品を紹介。ギャラリートークも行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 465,000円 18,800円	288人 1回 226,347円 18,800円	額装作品と巻物を組み合わせた展示は迫力があり、観る者に強い印象を与える展示構成となった。暖かみのある種月作品に加え、夫人の日記を紹介し、来館者の共感を呼んだ。	企画展							—	—	≒100	2.4%
1	22	第19回伊賀市民美術展覧会 市展「いが」	・伊賀市共催	3/18～22 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 4-Ⅰ	協会が共催する7年目の事業となる。この間、コンサートを終めた新しいスタイルで本展を催行した。より多くの来館に繋げるため、展示方法や広報の見直し、表彰式の新たな取り組みを行った。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,000人 5日間+WS 1,075,000円 100,000円	1,233人 5日間+WS 846,163円 104,000円	昨年度に続き、出品の事前申込制度を活用した。展示数が増えた場合はスペースに限りがあるため、検討が必要。ギャラリーコンサートも場所の確保が難しく、要検討。	継続							—	—	—	—
1	23	タッチ・ザ・スタインウエイ (青山ホール)		5/25・7/22/・ 9/13・11/10・ 3/27青山ホール	1-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅰ	ふだん触れることがない音楽ホールのピアノ・スタインウエイを一般開放し、気軽にピアノに親しんでもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	70人 5回 5,000円 35,000円	60人 5回 0円 30,000円	毎回申し込みが多く、メディアで複数回紹介されたこともあり、事業を知ってもらうことができた。	継続							—	—	—	—
1	24	タッチ・ザ・スタインウエイ (伊賀市文化会館)		6/26・8/11・ 9/29・1/11 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅰ	普段触れることがない音楽ホールのピアノ・スタインウエイを一般に開放し、気軽にピアノに親しんでもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	70人 5回 5,000円 35,000円	58人 3回 0円 27,000円	参加者には、文化会館という大きなステージでピアノ名器の音を響かせる醍醐味を味わってもらっている。	継続							—	—	—	—
1	25	ステージひとりじめ 大舞台であなただけの音色を響かせて(青山ホール)		6/7 1/16 青山ホール	1-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅰ	ピアノ愛好者ばかりではなく、管弦打楽器の愛好者たちにもホールのステージを練習会場として開放し、技量アップやステージの感覚を味わってもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	14人 2回 7,600円 14,000円	14人 2回 0円 13,000円	様々な楽器による演奏やコーラスの練習など、本格的な舞台で自由に音楽を楽しんでもらった。	継続							—	—	—	—
1	26	ステージひとりじめ 大舞台であなただけの音色を響かせて(伊賀市文化会館)		6/28 2/6 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅰ	ピアノ愛好者ばかりではなく、管弦打楽器の愛好者たちにもホールのステージを練習会場として開放し、技量アップやステージの感覚を味わってもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	14人 2回 7,600円 14,000円	12人 2回 0円 13,000円	青山ホールでの同名事業に続いて文化会館でも開始した。大舞台で演奏等を楽しんでもらっている。	継続							—	—	—	—

|--|

大分類	小分類	事業名		開催日・会場等	プラン基本方針	当初計画事業目的	記入項目	R7	R7	R7 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 予算	市総合計画 施策									
								予算	実績					R5満足度	R5子供率	R6満足度	R6子供率					
3	1	第44回新人演奏会inいが	・伊賀芸術文化協会と共催 ・新人演奏会inいが実行委員会 主管	4/6 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 3-Ⅰ	音楽大学等で学んだ新人に発表の場を提供し、地域の文化芸術振興の担い手となってもらうことを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 527,000円 305,000円	330人 1回 606,466円 694,500円	出演者が例年より10人ほど多く、弦楽器の出演も増えた。中高生の来場が多くなった。この世代の更なる入場者増を目指したい。	継続						99.0%	32.0%	≒100	10.0%		
3	2	第13回 邦楽と日舞	・協力事業	6/8 崇広堂	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅱ 7-Ⅱ	伊賀邦楽会による邦楽と日舞の公演。協力事業として実施する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	70人 1回 — —	70人 1回 — —									—	—	—	—	
3	3	伊賀コミュニティオーケストラ 第1回名曲コンサート 指揮者って、なに？	・伊賀コミュニティオーケストラ 協力	5/11 青山ホール	1-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	伊賀地方の音楽愛好家によるオーケストラ公演。毎回テーマを変えて演奏しており、「みんなで歌おう」のコーナーは定評がある。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 200,000円 200,000円	158人 1回 165,930円 155,100円		継続								81.0%	3.0%	≒100	10.1%
3	4	bimonthly Condert Vol.49～54 ※クラシックのいろは付随事業		5/10 7/12 9/7 11/8 1/25 2/28 伊賀市文化会館・ 青山ホール	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ	地域の音楽家の優れた才能を広く紹介し、今後の音楽活動の飛躍に繋がる演奏会として開催。更に、公演を通してクラシック音楽の普及を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	250人 6回 1,070,000円 250,000円	261人 6回 592,509円 334,600円	鑑賞者数が実際の会場定員より少ないため、会場選定や収入、形態など内容を見直す必要がある。	継続								81.0%	5.0%	≒100	5.0%

令和7年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

令和8年7月現在

3	5	中学高校吹奏楽 オープンリハコンサート	・伊賀吹奏楽連盟共催	7/20 伊賀市文化会館	2-Ⅰ 4-Ⅱ 7-Ⅰ	伊賀地域の中学・高校の吹奏楽部がコンクールを前に文化会館ステージで演奏を披露。みんなで応援するオープンリハコンサートとする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	600人 1回 — —	927人 1回 — —	余白	継続						—	—	—	—	
3	6	第36回青山推薦コンサート	・コンサート実行委員会協力	2/8 山ホール	青 3-Ⅰ 3-Ⅱ	地域の音楽家や音楽家を志す人たちに、日頃の研鑽の発表の場として開催。若い音楽家の飛躍の姿を来場者に披露することで、さまざまな音楽の発展を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	210人 1回 203,000円 210,000円	129人 1回 132,566円 239,000円	今回はピアノソロ、ピアノデュオ、フルートデュオなど多様な編成が披露され、来場者に幅広い音楽表現を楽しませた。	継続						≒100	9.1%	—	3.8%	
3	7	IGAオーケストラアンサンブル BUNTO 室内楽の調べVol.4	・地域創造(創造プログラム)助	3/21 青山ホール	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ	IGAオーケストラアンサンブルBUNTOの演奏会を定期的に開催し、演奏家の育成や発表機会の増加につなげる。ひいてはクラシック人口の増加に繋げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	120人 1回 506,000円 268,000円	72人 1回 394,850円 272,000円	「同属楽器によるアンサンブルの魅力」という今回テーマにふさわしく、フルート・オーボエ・ファゴットそれぞれの調和のとれた、合奏の可能性を掘り下げたコンサートだった。	継続						95.5%	20.6%	≒100	11.1%	
大分類	小分類	事業名		開催日・会場等	プラン 基本方針	× 事業目的	記入項目	R7 予算	R7 実績	R7 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R7 方向性	R7 予算	市総合計画 施策					R5満足度	R5子供率	R6満足度	R6子供率
4	1	現代作家×入交家住宅 春を紡ぐ牡丹		4/17～21 入交家	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	牡丹の季節に合わせてイベントを企画し、施設の認知度を高めると共に文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造力を育むことを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 365,000円 10,000円	621人 1回 216,765円	会期中には牡丹の絵を描くワークショップも開催し、子どもたちにも施設の使用状況とそこで過ごす心の豊かさを提供できた。							—	—	100.0%	2.8%	
4	2	17歳のHARUKA展 紙粘土の金魚がおよぐ		4/23～27 入交家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ	若き紙粘土作家、佐々木春樺が表現する優れた作品を展示し、来館者の興味関心に繋げる展覧会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 358,000円 10,000円	666人 1回 424,277円 38,475円	来館者の関心も高く、目標を大きく上回った。作品の搬入方法などを事前打ち合わせの際に確認するの必要を感じた。	単発						—	—	98.8%	16.8%	
4	3	光のART展XI 集えー光の森へ		4/29～5/6 崇広堂	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	歴史情緒あふれる旧藩校の和の空間を活用し、様々な素材と造形の作品が光と陰で彩られるアート空間を楽しんでいただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	150人 1回 76,000円	629人 1回 1,724,278円 11,650円		継続						97.9%	4.3%	≒100	3.0%	
4	4	すうこうどう寄席 Vol.31 Vol.32		5/10 7/12 崇広堂	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	我が国独特の芸能である落語を身近な距離で鑑賞することにより落語特有の仕草や表情など、生の芸を楽しんでいただき、落語ファンの定着を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	140人 2回 491,000円 140,000円	139人 2回 529,704円 145,800円		継続						96.0%	0.0%	99.0%	2.6%	
4	5	名張藤堂邸アート展 彩に輝くガラスたち	・共催事業	5/16～21 名張藤堂家邸	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 7-Ⅱ		参加者数 開催数 開催経費 収入	400人 1回 — —	531人 1回 23,240円 50,000円		継続						—	—	—	—	
4	6	古代遺跡で!グラウンドゴルフ! 城之越Springカップ／城之越Autumn カップ／大会	・教育委員会と共催	5月から3月まで 計6回 城之越遺跡	1-Ⅰ 4-Ⅱ 7-Ⅰ	古代遺跡をグラウンドゴルフ大会の場として有効活用し、グラウンドゴルフの普及によるスポーツ推進や参加者の交流促進を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	540人 6回 — —	533人 6回 274,009円 266,500円	城之越遺跡のコースは定評があり、毎回多くの申し込みがある。定員を超えて断るケースもあるため、受付方法を検討する必要がある。	継続						—	—	—	—	
4	7	Animals in the Wild 野生に生きるものたち		6/14～23 赤井家	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 6-Ⅰ	南アフリカの野生動物の「いきる」をテーマにしたワイヤーアートやビーズアート約100点を展示し、来場者の芸術への興味関心に繋げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 144,000円 45,000円	881人 1回 152,012円 264,281円	針金やビーズで動物を表現した見事な作品の数々が、子どもから大人まで幅広い層を惹き付けた。	単発						—	—	100.0%	30.0%	
4	8	生活工芸展2025 用品ー湯呑	・ギャラリーやまぼん共催	7/19～8/3 崇広堂・入交家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	全国で活躍する工芸作家の作品を集めた企画展。生活工芸品と出会う機会を提供し、それら作品が人の暮らしに寄り添っていることを提案する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,500人 2会場 788,000円 300,000円	1,184人 2会場 804,972円 535,260円	暮らしに溶け込み、手に取る度に心豊かになる工芸品を多数展示・販売した。入交家では作り手の思いが込められた様々な湯呑を並べた。	継続						94.4%	2.1%	≒100	2.5%	
4	9	真夏の夜のガラスアート展Ⅶ	・ライトアップイベントお城のまわり連携事業	8/8～17 崇広堂	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ	全国で活躍するアーティストの作品展示を通して、市民にアート作品や展示空間を楽しんでもらう機会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,000人 1回 388,000円 50,000円	1,804人 1回 356,812円 45,861円	能登半島地震で被害を受けながらも創作を続けるガラス作家の現状を作品と共に紹介し、復興支援の一助とした。インスタライブも行った。	継続						99.2%	3.9%	≒100	25.0%	
4	10	河野一郎 メカニカルパズル展		8/23～31 赤井家	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ	河野一郎氏が長年制作してきた創作メカニカルパズルの展示と実演、体験。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 56,000円	756人 1回 20,041円	木製のパズルという馴染み深い素材を使って、子どもから大人まで幅広い世代に遊んでもらい、予想を大幅に上回る盛況となった。	単発						—	—	≒100	44.5%	
4	11	工芸美術 逸品展 in IGA		9/5～14 井家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	京都工芸美術作家協会による作品展。小物を中心に販売も行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 773,000円 300,000円	502人 1回 314,820円 50,100円		単発						—	—	100.0%	6.0%	
4	12	飯田淳子 賀上野天神祭行列図特別展示	伊	10/17～19 入交家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ	日本画家・飯田淳子氏が描いた上野天神祭の行列図を公開する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 — —	500人 1回 8,800円		継続						—	—	—	—	
4	13	貴島雄太郎ガラス展 削紋		10/25～11/3 赤井家	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	ガラス作家・貴島雄太郎氏の作品展。「削紋」という独自の技法でガラスを削って紋様を浮かび上がらせる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	400人 1回 327,000円 50,000円	512人 1回 184,758円 76,230円	様々なパターンの作品が展示され、情報紙やSNSで来場を呼びかけた。	単発						—	—	≒100	9.0%	
4	14	金唐革展		11/6～11 赤井家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	ヨーロッパで壁紙などに使われる革に金泥や金箔を貼って装飾した「金唐革」を紹介する作品展。ガラス作家・徳力竜生氏の協力により開催。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 144,000円 20,000円	500人 1回 181,904円 104,550円	ルネサンス期に愛された幻の芸術「金唐革」を蘇らせるため、出展者とその家族が作品を展示し、来場者に金唐革の貴重さをレクチャーした。	継続						—	—	≒100	1.7%	
4	15	World Music Program Vol.3 Vol.4	・伊賀市国際交流協会一部共催	11/9 崇広堂 2/8 ハイトピア 伊賀	1-Ⅰ 1-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	音楽に触れる楽しみをより多くの市民に伝えるときともに、世界の音楽や民族への関心を高めてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	280人 2回 — —	320人 2回 440,007円 70,000円	アイリッシュ音楽と二胡の公演をそれぞれ実施した。開催にあたり伊賀市国際交流協会にも周知等で協力を得ることができた。	継続						—	—	90.0%	2.5%	
4	16	結城春樹作品展 光彩		11/20～25 赤井家	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ	鈴鹿市在住の草職人・結城春樹氏の創造性豊かな作品を展示・販売し、暮らしにアートを添える「+art」の一環として開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 1回 150,000円 100,000円	327人 1回 148,417円 163,245円	SNS等で広報したことで、目標を上回る入場者があった。展示方法の工夫やワークショップなど新たな取り組みを行いたい。	企画展						—	—	100.0%	0.0%	
4	17	旧小田小学校本館利活用事業 いつまでも残したい太鼓楼のある学校のパネル展		12/6～21 旧小田小学校本館	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	全国でも残り少なくなった太鼓楼のある学校の写真16枚をパネルで展示。太鼓を叩くワークショップも行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 76,000円	78人 1回 127,844円		単発						—	—	—	—	
4	18	黒田峯夫展 在 SONZAI	存	1/4～2/1 崇広堂	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅱ	現代美術作家・黒田峯夫氏が表現する創造性豊かな作品の数々を展示し、見る者の感性を豊かにする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 234,000円	176人 1回 272,912円 5,700円		単発						—	—	98.3%	1.7%	

令和7年度伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

令和8年7月現在

4	19	大人のワークショップ		1/18 赤井家	1-I 3-I 4-II	忙しい毎日に安らぎのひとときを—をテーマにしたワークショップ。「薔薇のソーパークーピング」の制作を楽しんだ。	参加者数	30人	28人	参加者は制作に熱中し、日常から離れて静かな時間を楽しんでいるようだった。作品を持ち帰ることもでき、達成感や満足感が得られた様子だった。	継続																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
---	----	------------	--	-------------	-----------------	--	------	-----	-----	---	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

																	ぶんと記載項目(満足度／子ども参加率)			
大 分類	小 分類	事業名	・実行委員会に参画	開催日・会場等	プラン 基本方針	当初計画 事業目的	記入項目	R7 予算	R7 実績	R7 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R8 方向性	R8 予算	市総合計画 施策				R5満足度	R5子供率	R6満足度	R6子供率
5	1	ライトアップイベント お城のまわり	・実行委員会に参画	8/8～10 野城周辺	1-I 2-I 6-I 7-II		参加者数 開催数 開催経費 収入	10,000人 1回 — —	15,000人 1回 — —	伝統芸能である上野天神祭の祭囃子を体験するイベント。灯りの城下町でのコンサートや大阪・関西万博会場での公演など、市内外でお囃子を披露した。	継続						—	—	—	—
5	2	伝統芸能継承事業 上野天神祭りお囃子・祭り教室・演奏会	・地域創造(創造プログラム)助成	8月～2月まで計 4回	1-I 2-I 5-I 6-II 7-II	郷土に伝わるお祭りを理解するため、お囃子の体験や演奏(合奏)などを各地で催す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	185人 4回 1,128,800円 545,000円	225人 4回 984,885円 450,000円		継続						—	—	—	—
5	3	第42回上野城新能	・上野城新能実施委員会に参加 ・岡田文化財団助成	9/13 上野城特設舞台	1-I 3-I 5-I 7-II	伊賀上野城を背景に開催する本格的な能公演。観世流能「船弁慶」と大蔵流狂言「萩大名」が秋の夜長を彩る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	250人 1回 — —	256人 1回 — —		継続						—	—	—	—
5	4	伊賀上野灯りの城下町	・協力・共催事業	10/10～11 中心市街地	1-I 2-I 5-I		参加者数 開催数 開催経費 収入	10,000人 1回 1,574,853円 1,874,180円	15,000人 1回 — —								—	—	—	—
5	5	第53回伊賀陶芸会展	・伊賀陶芸会共催 ・gentil bake	11/21～24 伊賀市文化会館	1-I 3-I 5-I 7-II	結成から53年目を迎えた伊賀陶芸会の会員による作品展。作り手がそれぞれ独自性のある作品を出展する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回 134,655円 —	551人 1回 — —	今回は「壺展」と題した特別展示や、地域のカフェによるコーヒーの提供(陶芸家が制作したカップを活用)も行った。	継続						—	—	—	—
5	6	灯りと華のプロムナード		10/10～13 崇広堂・赤井家・入交家	1-I 2-I		参加者数 開催数 開催経費 収入	1,500人 1回 386,322円 —	2,233人 1回 — —	単発		—					—	—	—	

															ふんと記載項目(満足度／子ども参加率)				
大 分類	小 分類	事業名	会場等	プラン 基本方針	当初計画 事業目的	記入項目	R7	R7	R7 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R8 方向性		市総合計画 施策				R5満足度	R5子供率	R6満足度	R6子供率
							予算	実績								_____	_____	_____	_____
6	1	旧上野庁舎SAKAKURA BASE OPENING COMMEMORATIVE LIVE モダニズム建築に響く音楽 の調べ	7/20 SAKAKURA BASE	4-Ⅱ 6-Ⅰ 1-Ⅰ 7-Ⅰ	モダニズム建築を代表する坂倉準三の設計による 旧上野市庁舎のリニューアルオープンの記念ライブ として開催。まちかど音楽プログラムの第一弾。	参加者数 開催数 開催経費 収入	150人 1回 199,913円 —	145人 1回 199,913円 —		企画		4-1 都市政策				—	—	—	—
6	2	伊賀上野城下町のおひなさん 雛見茶会	伊賀上野城下町のおひなさん実行 委員会協賛 2/11,14,21,22 崇広堂	1-Ⅰ 4-Ⅱ 6-Ⅰ 7-Ⅱ 5-Ⅰ	伝統的なひな祭りと伊賀焼の器を使って茶道を体験 することにより、地域住民の文化振興や生涯学習の 推進及び施設の利活用を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 4日間 291,000円 120,000円	1370人 4日間 325,508円 168,910円	期間中に「菰月明のたのしみおひなさん」を開 催し、入場者が増えた。次年度は開催地の変更 も検討する。	継続							97.0%	1.5%	95.0%

															ぶんと記載項目(満足度／子ども参加率)					
大 分類	小 分類	事業名		会場等	プラン 基本方針	当初計画 事業目的	記入項目	R7	R7	R7 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R8 方向性						R5満足度	R5子比率	R6満足度	R6子比率
								予算	実績											
7	1	伊賀市文化振興プラン 見交流会	意	・伊賀市文化振興課と共同	8/28 ゆめボリスセン ター	文化振興プランの推進方法の1つとして、行政、公益文化団体、関係団体・個人などが意見交換によって相互理解を深める場。本年は「多文化共生」をテーマにした。	参加者数 開催数 開催経費 収入	58人 1回 — —	31人 1回 — —	テーマを多文化共生に絞って、グループごとに参加者の積極的な意見交換ができ、提言も生まれたが、一方の当事者である外国籍の市民の参加がなかったのは本末転倒。	継続						79.3%	—	—	—
7	2	福祉領域アウトリーチ		・対象福祉施設と連携	10/16 かしの木ひろば	普段、文化芸術に触れることが困難な障害者や要介護者に音楽を届け、様々な刺激や気付きの中から文化芸術の素晴らしさを感じてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	60人 1回 102,000円 —	80人 1回 134,527円 —	かしの木ひろばで3年目のアウトリーチ。過去2年間の感想や評価を元にして、本年は職員による合奏や合唱が加わるなど、内容が豊富になった。	継続						100.0%	—	100.0%	—
7	3	福祉施設アウトリーチ		・対象福祉施設(3カ所)と連携 地域創造(障がい者関連プログラム)助成	1/28 1/29 伊賀つばさ学園・名張育成園 はーと・ヴェルデドゥ	2-II 3-II 7-II 普段、ホールに来場することが困難な立場の人々が、文化芸術の素晴らしさに触れる機会づくりとして、地域創造プログラムに基づき3年間実施する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 4回 — —	107人 4回 — —	どのような点に気を付けて実施すべきが見えて、貴重な機会となった。小学生から中学生までの年齢層で1コンサートを行ったが、次年度は小・中・高それぞれ対象を絞り実施する。	継続						—	—	100.0%	100.0%
7	4	企業アウトリーチ事業2024		・キャンノマテリアル協力	1/4 上野キャンノマテリアル(株)食堂	1-II 3-II 7-II 6-I 市内の大規模事業所の職場で音楽等を提供することで社員(保護者)が文化芸術に興味を持ち、親子でホールを訪ねる契機となることを目的に実施する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	— 1回 — —	159人 1回 44548円 —	熱心に聴いている社員が目立ち、食後も席を立たないなど、とても良い反応を感じた。、	継続						—	—	—	—

															ふんと記載項目(満足度／子ども参加率)				
番外	1	親子遊び体操	・伊賀市グラウンドゴルフ協会協力 ・市内企業協賛	4月～3月 阿山B&G海洋センター	1-I 2-I	幼児の成長に欠かせないコミュニケーション能力と運動機能の基礎を養うための、親子を対象とした事業。	参加者数 開催数 開催経費 収入	30人 16人 281,062円 297,000円	対象となる年齢幅が狭いため、毎回入れ替わりが多い。新規参加者を獲得するための広報が必要。	継続						—	—	—	—
番外	2	集まれ！グラウンドゴルフ仲間！	・伊賀市グラウンドゴルフ協会協力 ・市内企業協賛	4～11月 運動公園競技場ほか	1-I 4-I	練習は毎月2回(11月のみ1回)、木曜日の午前に開催。11月の大会と併せて、健康の推進、参加者のふれあい、および施設の利活用を目的に開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,480人 1,647人 495,561円 466,700円	毎回の練習は天候に恵まれ、中止が一度もなかった。夏季は熱中症の発症の懸念があった。11月の大会は第20回記念大会となり、参加者数を増やすための広報に力を入れ、盛大に開催できた。	継続						—	—	—	—
番外	3	ふんとフィットネス講座		通年 しらさぎ運動公園他	6-I 7-I	市民の健康増進や新たなエクササイズへの参加意識を高めるのが目的。本年度は9つの講座(エクササイズ)を設けた。	参加者数 開催数 開催経費 収入	11,440人 8080人	リピーターも多く、ヨガやティラビスなどに安定した人気がある。	継続						—	—	—	—
番外	4	IGA地域情報交流カフェ (第17回、第18回)	・伊賀連携フィールド事業	7/25 12/5 ゆめテクノ伊賀	3-I 3-II 4-I 6-I	新規創業者や中小事業者などの情報交換やビジネスマッチングの促進、起業・創業を志す事業者の相談やサポートを行う。以て、伊賀の産業振興に繋げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	50人×2回 82人 2回	参加者の今後のフォローについて、関係者の役割が重要となる。	継続						—	—	—	—